

CASBEE-建築(新築)2024年版  
 (仮称)長岡京市勝竜寺PJ 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.2

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
Q1 建築物の環境品質							3.1	
Q1 室内環境			0.40				3.0	
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00		3.0	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	3.0	1.00		2.9	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	エアフロー・ウインドウの採用	3.0	0.38	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00		3.3	
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.35			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.35			
1 昼光制御	カーテンと庇を組み合わせて昼光を制御	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.29			
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00		3.0	
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能			0.30				3.2	
1 機能性		3.0	0.40	3.8	1.00		3.7	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	住戸内にCat6Aケーブルを突装	3.0	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-		3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:ポリエチレン管、汚水・雑排水管:VPを使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			

3	対応性・更新性		2.8	0.30	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり			-	2.6	0.50	
	1 階高のゆとり	-	3.0	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	3.0	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		2.8	1.00		-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	-	2.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30		-	3.0
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30		-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.2
LR1	エネルギー		-	0.40		-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20		-	3.0
2	自然エネルギー利用(直接利用)		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.72	4.2	0.50		-	4.2
	集合住宅以外の評価			-		-	
	集合住宅の評価		4.2	1.00		-	
4	効率的運用に向けた取組み		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			-		-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	-		-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	-		-	
	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大	-	3.0	-		-	
	4.4 コミュニケーションの推進	-	3.0	-		-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	2.9
1	水資源保護		2.2	0.20		-	2.2
	1.1 節水		1.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60		-	2.9
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と造作壁、天井材を分離し、容易に分別可能とする。	3.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20		-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	F☆☆☆☆で採用	5.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	HFO断熱材を使用	3.0	0.50		-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量 91%	3.3	0.33		-	3.3
2	地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	1.00		-	
	2 振動		-	-		-	
	3 悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-		-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの一部を満たし、広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2024年版

(仮称)長岡京市勝竜寺PJ 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	2.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	7.0	-	-	2.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	-	1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0	-	2.0	1.0	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用(直接利用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.4 コミッショニングの推進	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

<b>Q1 室内環境</b>		窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -	
2.1.3 外皮性能		U値(W/m2K)	窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -
3.1.1 昼光率		住戸部分 窓システムU値 -	外皮UA値 - ηAC - ηAH -
4.2.2 自然換気性能		昼光率 0.0%	
<b>Q2 サービス性能</b>		自然換気有効開口面積率 0.0%	
1.1.1 広さ・収納性		執務スペース .0㎡ /人	病床 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応		コンセント容量 0.0 VA/㎡	
1.2.1 広さ感・景観		天井高 0 m	
1.2.2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース 0.0%	レストスペース 0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定耐用年数 0 年	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔 0 年	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔 0 年	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		想定必要間隔 0 年	
3.1.1 階高のゆとり		階高 0 m	
3.1.2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率 52.0%	
3.2 荷重のゆとり		床荷重 - N/m2	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		外構緑化指数 46%	建物緑化指数 0%
1 生物資源の保全と創出		空地率 51%	水平投影面積率 30% 地表面対策面積率 50% 舗装面積率 41%
3.2 敷地内温熱環境の向上			
<b>LR1 エネルギー</b>		BPI/BPI <sub>m</sub> 0.97	断熱等性能等級 等級4 相当
1 建物外皮の熱負荷抑制		影響範囲の割合 0.0%	採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%
2 自然エネルギー利用(直接利用)			通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化		太陽光 47.9kW	太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kWh
非住宅部分		BEI/BEI <sub>m</sub> 再エネ有 0.40	無 0.55 オフサイト再エネ有 - 〇〇GJ/年
集合住宅		一次エネルギー削減率 再エネ有 28%	無 28%
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		雨水利用率 0.0%	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		特定調達品目 構造用パネティク、エコマーク商品	- 自治体指定の特定品目等 -
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		使用比率 0.0%	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒		オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
<b>LR3 敷地外環境</b>		見付面積比 #DIV/0!	隣接関係指標R <sub>w</sub> -
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策面積率 50.0%	屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!
		見付面積S <sub>b</sub> ㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W <sub>s</sub> 0 m 基準高さH <sub>b</sub> 0 m
		緑地 1,866㎡	水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡